

Zoom書こう会 ワクチン予約あれこれ

首藤 静夫

新型コロナのワクチン接種が始まった。

私が住む市の役所は連絡が諸事遅い。昨年の十万円給付も遅かった。今回も同様だ。橋一つ渡った隣の東京・世田谷区は予約も実施も順調なようで、友人からも早速予約した旨のメールが入った。

そうこうするうち、市からやっと接種券が届いた。六五歳以上七四歳までは六月一日の八時三十分から予約開始とある。電話は通じないだろうからネット予約と決めて準備にかかる。市の操作マニュアルは分かり易い。すいすい予約に辿りつきそうだ。ただ、対象人数が多いので、早めの日時を取るのは競争となるだろう。

六月一日の予約当日。早めに目が覚めた。ベッドで腕回し、指の曲げ伸ばしなどを終え、居間でラジオ体操を丁寧にやった。

開始時間の一時間も前にパソコンを開け、適当に入力練習もして、いざ本番。定刻の八時三十分。打ち込む順序、内容は分っている。接種券番号、パスワードの入力など、順調な出だしだ。指定項目を打ち終え自治体に送り、先方から新たな入力フォーマットが届く。それを数行打ち込めば予約準備完了だ。後は希望会場や日時を選択して確定すればいいのだ。ところが――。

名前、電話番号、住所の次にまた「パスワード」の項目があり、旧・新のパスワードを入力とある。

「????」

何のこと？ 操作マニュアルにはなかった内容なのだ。旧・新の意味が分らない。説明もない。今日初めて打つパスワードに旧も新もあるものか。試行錯誤するが全然だめだ。時間が経過していく。頭に血が上る。妻がコールセンターに電話するが繋がらない。

あとで分ったが、旧は送られてきたパスワード(生年月日)、新は何でもいいのだと。

結局、当日予約の分は全部埋まり、後は五日先の、次の予約分にお回り下さいと。他の人たちはどうして入れたのか？

あーあ、この手の生存競争は昔から苦手だったなあ。コールセンターにねじ込んでやろうと思ったがやめた。また繋がらなかったらコロナより血压がこわい。